



編集部  
独占インタビュー

CNN  
TÜRK

# Sticking to the Facts

CNN 看板キャスター

## クリスティー・ルー・スタウト

### 「語学で広がる新しい世界」

大好評の先月号に引き続き、今月号でも「編集部独占インタビュー」第2弾として、CNNの看板アンカー、クリスティー・ルー・スタウトの生声インタビューをお届け！専門である中国情勢を中心に、あらゆるニュースを世界中の人々に送り届けてきた彼女が、ジャーナリズムに入った動機や中国でのさまざまな経験、ニュースアンカーとして心に留めていることなどについて語ってくれた。

## ■クリスティー・ルー・スタウト

香港に本部を置くCNNインターナショナルの看板アンカー。米ペンシルベニア州生まれで、父親はヨーロッパ系アメリカ人、母親が台湾出身。2006年に「アジアテレビジョンアワード」でアンカー部門賞を受賞し、2009年9月には経済専門誌の『フォーブス』が選定する「注目すべきアジアの女性9人」の1人に選ばれた。



## 63 ジャーナリズムを目指したきっかけ

**EE** What inspired you to get into journalism in the first place, and how did you come to join CNN?

**Kristie Lu Stout** I first wanted to become a journalist when I was at university. When I was at Stanford University, I worked for the *Stanford Daily* newspaper and also for the radio station, and that sparked a love affair with current events and with storytelling. When I was an undergraduate student, I studied with the Princeton in Beijing program in China, and that introduced me to what was, back then, a China going through a dramatic period of dynamic change. And I knew I wanted to return to China, but as a journalist.

Eventually, I did return to China. I enrolled in a yearlong, intensive, academic language program at Tsinghua University in the late 1990s. And while I did that program, I also freelanced for different publications, including *Wired* and *South China Morning Post*.

**stick to:**  
《タイトル》～にこだわる、～から離れない  
**inspire...to do:**  
…を～する気にさせる  
**in the first place:**  
そもそも

**spark:**  
～の火付け役となる、きっかけになる  
**a love affair with:**  
～に夢中になること  
**current events:**  
時事問題  
**storytelling:**  
(物語などを) 語ること  
**undergraduate student:**  
学部生  
**Princeton in Beijing:**  
プリンストンin北京  
▶北京で行われるプリンストン大学主宰の中国語研修プログラム。  
**introduce A to B:**  
①A(人)がB(新しい世界など)を知るきっかけを与える ②A(物など)をB(人)に紹介する、知らせる  
**go through:**  
～を体験する、経る  
**dynamic change:**  
大きな変動  
**enroll in:**  
(大学などに)入学する  
**yearlong:**  
1年間の  
**intensive:**  
集中的な  
**academic program:**  
専門プログラム  
**Tsinghua University:**  
清華大学 ▶北京市の大学。  
**freelance:**  
フリーランスで働く  
**publication:**  
出版物、定期刊行物

**EE** そもそも、ジャーナリズムの道に進んだきっかけは何ですか。そして、どのような経緯でCNNに入社することになったのですか。

**クリスティー・ルー・スタウト** 私が初めてジャーナリストになりたいと思ったのは、大学時代です。スタンフォード大学に通っていたとき、スタンフォードデイリー紙と(同大学の)ラジオ局に勤めていたのですが、それがきっかけで時事問題や語ることに熱中することになりました。学部生のとき、中国で行われる「プリンストンin北京」という(語学)プログラムで学んで、大変動の時代を迎えようとする当時の中国に触れる機会を得ました。そして、中国に戻りたいと思うようになりました、といっても、ジャーナリストとしてです。

やがて、本当に中国に戻りました。1990年代末に、清華大学で行われた1年間の集中語学専門プログラムに参加したのです。そのプログラムを受講しながら、フリーランスで『WIRED』や『サウスチャイナ・モーニングポスト』といったさまざまな出版物に関わりました。